

<本は輝石>の軌跡

田園調布高校図書委員会広報班発行<本は輝石>が100号を迎えました！！

<本は輝石>とは…

田園調布高校（以下：田高）図書委員会広報班の班員が毎月（原則）担当し、自分のお薦めの本を自らの熱い言葉で、わりと淡々と綴る紹介文です。

4月と8月を除いた月に発行している、図書委員会の、もはや伝統です。

<本は輝石>第1号は2007年5月に発行しました。推薦本は『キノの旅』（時雨沢恵一著）。『キノの旅』シリーズは、現在も根強い人気があり、田高図書館には必要なシリーズとなっています。（現在カドカワ電撃文庫シリーズ第23巻まで刊行中）

田高図書委員会広報班によって繋がれてきたこの伝統企画が100号を迎えた記念として、過去に<本は輝石>で紹介された本を振り返ってみます。第1号から、現在発行中の第101号にちなみ、○1号に注目してその軌跡を辿ります。題して、<本は輝石>の軌跡。

第1号(2007.5 発行)

『キノの旅』時雨沢恵一



第11号 (2008.7 発行)

『沖縄ノート』大江健三郎



第21号(2010.2 発行)

『鏡地獄』江戸川乱歩



第31号(2007.5 発行)

『ご冗談でしょう、ファインマンさん』

R.P. ファインマン

第41号 (2012.12 発行)

『ハムレット』W.シェイクスピア

第51号 (2014.7 発行)

『チア男子』朝井リョウ



第61号 (2015.12 発行)

『空想科学読本12』柳田理科雄



第71号 (2018.7 発行)

『神去なあなあ日常』

三浦しをん



第81号 (2020.1 発行)

『宵山万華鏡』森見登美彦

第91号 (2022.6 発行)

『海をあげる』上間陽子

第101号 (2023.9 発行)

『カンガルー日和』村上春樹

<本は輝石>は、2007年5月の発行以来16年間、毎年交代する広報班の班員に引き継がれてきました。これからも田高図書館の<本は輝石>の歴史は続いていくことでしょう。